

ロスバスタチン錠2.5mg「EE」
 ロスバスタチン錠5mg「EE」
 ロスバスタチンOD錠2.5mg「EE」
 ロスバスタチンOD錠5mg「EE」

【この薬は？】

販売名	ロスバスタチン錠 2.5mg「EE」 Rosuvastatin tab. 2.5mg「EE」	ロスバスタチン錠 5mg「EE」 Rosuvastatin tab. 5mg「EE」
一般名	ロスバスタチンカルシウム Rosuvastatin Calcium	
含有量 (1錠中)	ロスバスタチンカルシウム 2.60mg (ロスバスタチンとして 2.5mg)	ロスバスタチンカルシウム 5.20mg (ロスバスタチンとして 5.0mg)

販売名	ロスバスタチン OD 錠 2.5mg「EE」 Rosuvastatin OD tab. 2.5mg「EE」	ロスバスタチン OD 錠 5mg「EE」 Rosuvastatin OD tab. 5mg「EE」
一般名	ロスバスタチンカルシウム Rosuvastatin Calcium	
含有量 (1錠中)	ロスバスタチンカルシウム 2.60mg (ロスバスタチンとして 2.5mg)	ロスバスタチンカルシウム 5.20mg (ロスバスタチンとして 5.0mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」

<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、高脂血症用剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は肝臓のコレステロール合成を阻害することにより、血液中のコレステロールを低下させます。
- ・次の病気の人に処方されます。

高コレステロール血症

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にロスバスタチン錠／OD錠「EE」に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
 - ・肝臓の代謝機能が低下していると考えられる以下のような人
急性肝炎、慢性肝炎の急性増悪、肝硬変、肝がん、黄疸
 - ・妊婦または妊娠している可能性のある人および授乳中の人
 - ・シクロスポリンを使用している人
- 次の人は、原則として、この薬を使用することはできません。
 - ・腎臓の機能に関する臨床検査値に異常が認められる人でフィブラート系薬剤（ベザフィブラートなど）を使用している人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使用を始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・腎臓に障害のある人、または過去に腎臓に障害があった人
 - ・アルコール中毒の人、肝臓に障害のある人、または過去に肝臓に障害があった人
 - ・フィブラート系薬剤（ベザフィブラートなど）、ニコチン酸製剤（ニセリトロールなど）、アゾール系抗真菌薬（イトラコナゾールなど）、マクロライド系抗生物質（エリスロマイシンなど）を使用している人
 - ・甲状腺機能低下症の人、遺伝性の筋疾患（筋ジストロフィーなど）の人、血縁に遺伝性の筋疾患（筋ジストロフィーなど）の人がいる人、または過去に薬剤性の筋障害になった人
 - ・高齢の人
- この薬には併用してはいけない薬[シクロスポリン（サンディミュン、ネオーラルなど）]、原則併用してはいけない薬[フィブラート系薬剤（ベザフィブラートなど）]や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

		1日量（1日1回使用）	
		ロスバスタチン錠 2.5mg「EE」 ロスバスタチンOD錠 2.5mg「EE」	ロスバスタチン錠 5mg「EE」 ロスバスタチンOD錠 5mg「EE」
開始量*		1錠	—
最大量	4週間使用後、LDL-コレステロール値の低下が不十分な場合	最大4錠まで 徐々に増量	最大2錠まで 徐々に増量
	・1日量10mgを使用してもLDL-コレステロール値の低下が十分でない場合 ・重症の場合	最大8錠まで 徐々に増量	最大4錠まで 徐々に増量

* 早期に LDL-コレステロール値を低下させる場合には、1日量として 5mg から開始されます。

●どのように飲むか？

[ロスバスタチン錠 2.5mg/5mg「EE」]

・ コップ 1 杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

[ロスバスタチン OD 錠 2.5mg/5mg「EE」]

- ・ 口の中で溶かして飲む薬です。舌の上のにせ唾液で湿らせて舌で軽くつぶし、水なしで飲むことができます。また、コップ 1 杯程度の水またはぬるま湯で飲むこともできます。
- ・ 口の中で速やかに崩壊しますが、口の粘膜からの吸収により効果発現を期待する薬ではないため、崩壊後は唾液や水またはぬるま湯で飲み込んでください。
- ・ 寝たまま飲む場合は、水またはぬるま湯と一緒に飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

- ・ 決して 2 回分を一度に飲まないでください。
- ・ 飲み忘れた場合は、気がついたとき、寝る前までにできるだけ早く 1 回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

- ・ 異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・使用中は血中脂質値を定期的に検査し、治療に対する反応が認められない場合には投与が中止されます。
- ・免疫介在性壊死性ミオパチーがあらわれ、この薬の使用を中止した後も症状が持続する例が報告されているので、このような症状があらわれた場合には医師または薬剤師に相談してください。
- ・使用開始後や、使用量を増やした後は、原則としてその12週後までは1ヵ月に1回以上、それ以降は定期的（半年に1回など）に肝機能検査がおこなわれます。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。





重大な副作用	主な自覚症状
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる
ミオパチー	筋肉の痛み、筋力の低下、筋肉のこわばり
免疫介在性壊死性ミオパチー めんえきかいざいせいえしせいみおぱちー	手足のこわばり、手足のしびれ、筋肉の痛み、脱力感、筋力の低下
肝炎 かんえん	嘔吐（おうと）、からだがだるい、食欲不振、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、吐き気
肝機能障害 かんきのうしょうがい	皮膚が黄色くなる、嘔吐（おうと）、白目が黄色くなる、尿の色が濃くなる、吐き気、食欲不振、かゆみ、からだがだるい
黄疸 おうだん	皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる、白目が黄色くなる
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	あおあざができる、歯ぐきの出血、鼻血、皮下出血、出血が止まりにくい
過敏症状 かびんしょうじょう	意識がうすれる、発疹、じんましん、発熱、息苦しい、さむけ、ふらつき、かゆみ、判断力の低下、考えがまとまらない、口唇周囲のはれ、汗をかく





重大な副作用	主な自覚症状
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	発熱、から咳、息苦しい、息切れ
末梢神経障害 まつしょうしんけいしょうがい	筋力の低下、感覚のまひ、手足のしびれ、手足の痛み
多形紅斑 たけいこうはん	関節の痛み、発熱、発疹や水ぶくれができる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	脱力感、筋肉の痛み、発熱、からだのだるい、さむけ、ふらつき、汗をかく、筋力の低下、感覚のまひ、関節の痛み
頭部	考えがまとまらない、意識がうすれる
顔面	鼻血
眼	白目が黄色くなる
口や喉	吐き気、嘔吐（おうと）、口唇周囲のはれ、歯ぐきの出血、から咳
胸部	吐き気、息苦しい、息切れ
腹部	吐き気、食欲不振
手・足	手足のこわばり、手足のしびれ、手足の痛み、関節の痛み
皮膚	皮膚が黄色くなる、かゆみ、発疹、じんましん、あおあざができる、皮下出血、発疹や水ぶくれができる
筋肉	筋肉の痛み、筋力の低下、筋肉のこわばり
尿	尿が赤褐色になる、尿の色が濃くなる、尿が褐色になる
その他	判断力の低下、出血がとまりにくい

【この薬の形は？】

販売名		ロスバスタチン錠 2.5mg「EE」	ロスバスタチン錠 5mg「EE」
		うすい赤みの黄色～くすんだ赤みの黄色のフィルムコーティング錠	
形状			
			
直径		約 5.5mm	約 7.0mm
厚さ		約 3.1mm	約 3.9mm
質量		約 74mg	約 146mg
識別コード	表	2.5 ロスバスタチン	5 ロスバスタチン
	裏	2.5 ロスバスタチン EE	5 ロスバスタチン EE

販売名		ロスバスタチン OD 錠 2.5mg「EE」	ロスバスタチン OD 錠 5mg「EE」
		うすい赤みの黄色からくすんだ赤みの黄色のフィルムコーティング錠 (口腔内崩壊錠)	
形状			
			
直径		約 5.5mm	約 7.0mm
厚さ		約 3.0mm	約 3.2mm
質量		約 69mg	約 113mg
識別コード	表	2.5 ロスバスタチン	5 ロスバスタチン
	裏	OD ロスバスタチン EE	OD ロスバスタチン EE

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ロスバスタチン錠 2.5mg「EE」	ロスバスタチン錠 5mg「EE」
有効成分	ロスバスタチンカルシウム	
添加物	黄色三二酸化鉄、カルナウバロウ、クロスポビドン、酸化チタン、三二酸化鉄、ステアリン酸マグネシウム、タルク、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒプロメロース、D-マンニトール	

販売名	ロスバスタチン OD 錠 2.5mg「EE」	ロスバスタチン OD 錠 5mg「EE」
有効成分	ロスバスタチンカルシウム	
添加物	黄色三二酸化鉄、軽質無水ケイ酸、酸化チタン、ジメチルポリシロキサン（内服用）、スクラロース、タルク、デキストリン、トウモロコシデンプン、ポリビニルアルコール（部分けん化物）、ポリビニルアルコール・ポリエチレングリコール・グラフトコポリマー、D-マンニトール、 <i>l</i> -メントール	

【その他】

●この薬の保管方法は？

[ロスバスタチン錠 2.5mg/5mg「EE」]

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

[ロスバスタチン OD 錠 2.5mg/5mg「EE」]

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：エルメッド エーザイ株式会社 (<http://www.emec.co.jp/>)

エーザイ hhc ホットライン

電話：0120-223-698

受付時間：平日 9:00～18:00 / 土日・祝日 9:00～17:00